

10. 福岡市におけるセアカゴケグモの生息状況及び生態調査

環境科学課 宇野 映介・清水 徹也・上尾 一之

統計数理研究所共同研究「統計学的手法を用いた環境及び生体化学調査の高度化に関する研究」 研究報告会

福岡市では、2012年にセアカゴケグモによる咬傷事故が発生したのをを受けて、セアカゴケグモ対策行動計画を策定した。これに基づき、当研究所では、セアカゴケグモの生息抑制（効果的駆除）、生息域の拡大防止を目的として、セアカゴケグモの生息および生態調査を行った。

生息調査の結果、スパイダーダイアグラムの解析により、セアカゴケグモは1年間に200～300m程度移動することが推察された。

また、生態調査の結果、冬季におけるセアカゴケグモの駆除は発見・判別が困難であり、産卵して出囊する前の時期に、集中的な駆除を行うことが効果的であると推察された。また、ゲジやハサミムシはセアカゴケグモ幼体を捕食することが確認され、駆除の際は天敵を死滅させないように注意する必要があると思われた。